

瀬内さんらに最優秀賞

建コン協九州 夢アイデア交流会



(二社)建設コンサル
タンス協会九州支部(村
島正康支部長)は10日、
福岡市中央区の天神スカ
イホールで夢アイデア交
流会2016(第14回ま
ちづくりに関する提案発
表会)写真Ⅱを開催。
九州工業大学工学部建設
社会工学科3年の瀬内月

菜さん、白木笑加さん、
木嶋耕平さん、佐野彰一
さんらの作品、学生村の
構築、若松創生く様々な
分野の学生が暮らすシェ
アハウス群」を最優秀
賞に選んだ。

含む約200人の参加を
得て開催したもの。国土
交通省九州地方整備局と
(公社)日本技術士会九
州本部が後援、(二社)
九州地域づくり協会が協
賛した。

冒頭、村島支部長は
「今回は九州、関東、中
部、関西、北海道、四国
から57編の応募作品が寄
せられ、提案者の年齢構
成も16歳〜78歳と幅広
い。1次審査を経て9作
品のプレゼンテーション
を予定しているが、昨年
の最優秀賞はプレゼン
テーションが大きく寄与
したこともあり、提案・
発表者はベストを尽くし
て」とあいさつ。

プレゼンテーションに
ノミネートされた9作品
のうち6編は学生による
提案。発表者は持ち時間
10分で提案理由や作品に
かける夢等を熱く説明。
その都度、審査員や参加
者との活発な質疑応答が
みられた。

NPPO法人食育推進
ネットワーク福岡の久富
陽子さんの講演「共生型
社会を目指して」、夢ア
イデア事業のこれまでと
今後の展望についての報
告、実現化プロジェクト
の紹介とつづき、それら
を踏まえて夢アイデアの
意義や実現化を問う座談
会も開催された。

その間、参加者全員の
投票も参考に審査が行わ
れ、最優秀賞のほか優秀
賞3点、佳作5点を決定。
1次審査で選ばれた特別
賞5点も発表された。各
審査委員は、新しくユ
ニークなアイデアを評価
する、楽しさや社会の方
向性が見えた、主体的に
動くことが重要だ、グ
ローバルな国際分野のア
イデアも期待したい、再
チャレンジも考えてなど
と講評。玉川孝道審査委
員長が「とても楽しい一
日だった。提案アイデア
の根底に人、まち、自然
へのやさしさを感じた。
また、若い人の提案が多
く、元気なプレゼンテー
ションが目立った。継続
による今後の活躍に期待
する」と総括した。引き
続き懇親会・表彰式が催
され、受賞者には表彰状
と金一封が授与された。

最優秀賞の作品は、北
九州市若松区の創生の一
環として、空き家を自ら
の手でリノベーションし
様々な学生が暮らすシェ
アハウス群を構築する提
案。現在の活動、学生村
のあるべき姿、図面によ
る改修案の検討、模型に
よる改修案の具体化など
も示している。

優秀賞は、島田利夫氏
(野河内住還の会)の
「隠道を抜けて、宝探し
においてよー水源の里
曲淵・野河内」、小山昭
則氏(九州大学大学院1
年)の「熊本地震から学
ぶまちづくり」、ICT技
術を用いたきめ細かな物
資支援」、松尾眞吾氏
(東亜建設技術㈱)の
「心も潤う街、雨の日を
楽しみな日に」。